

「日常の大切さ」

鳥取県 長通寺住職 磯江 紹元
ちようつうじ しようげん

六年ほど前のこと。住職に成り立ての私は、立派な住職像を思い描き、「お寺を良くしていかなければ」、「違う職業の人と関わりを持とう」、「新しいことを取り入れないと」などと気負って考えていました。

そんなある日、近所に住むお檀家さんの久恵さんが「和尚さん、毎日忙しそうだねー。あっち行ったり、こっち行ったり」と声をかけてくださいました。私は「あれこれ やっていると、なんだか忙しくて。でも、久恵さんも毎日畑に出て大変ですね」と言うと、久恵さんは「わたしや、そんなことないさ。なんも特別なことしとらんから。毎日水やって草とってさ。和尚さんもあれこれ考えずに、たまにはゆっくり一日掃除してみんさい。えーもんだよ」と畑の方へ行かれました。

私は久恵さんの言葉もあり、ゆっくりと一日掃除をすることにしました。翌日も朝からあちこち掃除をしていると、気付いたのです。よく見みると境内の隅には落ち葉が溜まり、草も所々生えたままになっていたことに。いつも慌ただしく掃除していた時には、気付くことができませんでした。そこに通りかかった久恵さんが「和尚さん、ゆっくりやってみると違うだろ。良い和尚さんになりたいって言っとったねー。何でも毎日こつこつしんさい。忙しいだろうけど、何も、特別なこと せんだつてえーだけ。毎日丁寧に。それが一番じゃないだか?」と言い、畑仕事にいかれました。

私は、自分自身を見失っていたことに気づきました。久恵さんの言葉や、生き方を通して、「日常を丁寧に生きることの大切さ、そして何より大切なことは、自分以外に有るので無く、自分自身の日常の一步一步の中にある」ことに気付くことができました。自分の外に頼りすぎたり、上手くないかないことを他人のせいにしてしまいそうになった時、久恵さんの言葉を思い出し、自分の足下を見つめながら一步一步丁寧に歩み続けたいと思います。